



JR東日本、山田線 シカ対策実証報告

株式会社はなはな

実証実験内容

2018/12/19より、シカとの衝突事故問題を抱える山田線陸中川井駅～腹帯駅間の内、川井踏切から宮古方面へ500mの区間においてシカの線路内侵入による衝突事故を回避するための、境界守システム実証実験。

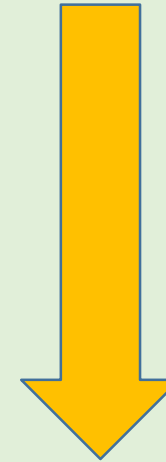


目標



事故件数を**0**件に

結 果



予定通り
0 封達成



【境界守】 2017年度と2018年度の比較

山田線：盛岡～宮古駅間衝撃件数（上米内～川内駅間は2017年11月4日まで運休）

2017年度衝撃件数 141件
2018年2月末日まで 134件
2019年2月末日まで 209件

2017年度駅間衝撃トップ3

- ① 陸中川井～腹帯駅間 36件
- ② 箱石～陸中川井駅間 26件
- ③ 上米内～区界駅間 22件

2018年度駅間衝撃トップ3（～2月末日）

- ① 上米内～区界駅間 52件
- ② 陸中川井～腹帯駅間 35件
- ③ 区界～松草駅間 23件

【陸中川井～腹帯駅間】

2017年度衝撃件数 39件
2018年2月末日まで 38件
2019年2月末日まで 35件

【設置時期での比較】（陸中川井～腹帯駅間）

2017年12月20日～2018年2月末日まで 9件
2018年12月20日～2019年2月末日まで 1件

設置した箇所での衝撃は0件

【設置箇所での比較】

72 k 550m～73 k 050mでの衝撃

2017年度 4件 73k200m 73k080m 73k000m 73 k 200m

2018年度 1件 73 k 150m

※付近での衝撃含む。